



Shine 今、進化する小林中

小林中学校 生徒会長 佐藤 華芳

これは、今年度の小林中学校の生徒会スローガンです。一人一人が学校生活や各行事、委員会活動で輝き、今まで以上の小林中へと進化をとげたい！という思いから作られました。このスローガンを決定した生徒総会を紹介しましょう。「学校生活におけるマナーアップのために」という議題をもとに全校生徒で話し合いが行われました。学校の課題として、公共物の使い方や校内外でのあいさつの声、整理整頓、時間厳守などマナーに関することがあげられました。そこで、「マナーとは、他人や他の物への気遣いである」という視点から、「マナーアップ」が学校の進化をとげるカギであるとし、全校



479名全員の方で今後も取組を継続していきたいと思っています。この取組は、地域社会、環境のために貢献できています。 Shine!! 小林中生!

生徒で具体策を考えました。そして、「①顔晴る(頑張る)あいさつ」「②整理整頓」「③2分前入室1分前着席」の『小林中3か条』を作成しました。この3か条を徹底して、小林中学校をより進化させていきたいと思っています。また、小林中学校では、昨年度から『50/50プロジェクト(節減できた光熱費の半分が学校に還元される市の取組)』を実施しています。昨年度は、生徒と職員が協力して、節電や節水といった省エネ活動を行い、約60万円の光熱費削減に成功しました。その還元金約30万円を使って、3年生の教室のカーテンや家庭科室のテレビを購入することができました。

小林中 3か条

- 一 顔晴る(がんばる)あいさつ
- 二 整理整頓
- 三 二分前入室 一分前着席



小林の考古学②～縄文文化～

Vol.55

縄文時代とは今から約1万年2千年前から1万年間続いた時代のことです。この頃の日本は、気候が暖かく、海面は現在よりも高かったと言われている。人々の暮らしは、狩猟と漁労、植物性食料(クルミ・トチ・ドングリなど)の採取で成り立っていました。鉄器などの金属器はまだ存在しておらず、当時の人々は、木や石または動物の皮や骨などを巧みに加工し道具として使い、土器も使用していました。

土器や石器が見つかった。残念ながら、永い間土の中に埋もれていると木や衣類、骨などは腐ってなくなってしまうものなのでこの時代の遺跡から発見されるものは土器や石器がほとんどです。何千年もの間土の中に埋もれて、現代において顔を出した数少ない歴史の証拠から当時の生活の様子を考えていくことこそ考古学の醍醐味と言えますね。



国際交流『シャネットの徒然なるままに』 WORLD

Vol.17

全裸?!



服装に割とうるさいです。もしかしたら、自分よりモテそうな人への嫉妬なんですよ。因は別として、自分も言われたくないので、周りの文句も言わないでおきましょう。服装に限らず...

日本とドイツでは服装は少し違います。やはり日本人の方が、おしゃれだと思います(10年前と比べると、ドイツ人もだいぶましになってきました)。ドイツ人はどちらかというと、楽で動きやすい格好を好みます。それから、一番大きな違いは多分国によっての上下の露出度。日本では、風にめくられてパンツが見えてしまつて「やっばりね!」としか思い浮かばない長さのスカートが、全然珍しくないです。ドイツではあまり見たことがない短さです。まあ、その代わりに向こうでは、襟の開き具合の自由が拘束されていません。「中身

SPORTS

みやざき県総合スポーツ祭 競技結果

- み やざき県民スポーツ祭が6月8日に開催され、市から29競技に約731人が参加。熱戦を制した個人とチームを紹介します。
- 【優勝のみ・敬称・記録略】
- ◆陸上競技
 - ▽男子 5000m C: 齋藤 貴憲 10分0秒
 - ▽女子 1500m D: 横山 敬子 4分15秒
- ◆水泳
 - ▽男子 55歳以上50m背泳ぎ: 小倉貞夫 70歳以上200m背泳ぎ
- ◆ソフトボール
 - ▽男子 1部: ホープ
 - ▽女子 2部: 野うさぎ
- ◆フライングディスク
 - ▽小学生女子 11歳以上7歳未満: 赤木彩弥
 - ▽小学生男子: 川畑春行
- ◆ハンドボール男子
 - ▽団体 ジャンプ: 小林 A
 - ▽個人 ジャンプ: 小学校 高学年: 高岩 怜菜
 - ▽ソフトボール: 小学校 高学年: 藤原 滝太
- ◆柔道
 - ▽男子 30歳以上: 大久保 真吾
 - ▽女子 個人: 大久津 由夏
 - ▽ウエイトリフティング
 - ▽77kg級: 村上 広大
 - ▽94kg級: 北ノ 蘭 大介
 - ▽ミニバレーボール
 - ▽男子 1部: ホープ
 - ▽女子 2部: 野うさぎ
 - ▽フライングディスク
 - ▽小学生女子 11歳以上7歳未満: 赤木 彩弥
 - ▽小学生男子: 川畑 春行